

令和7年度 第10回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和8年1月19日（月）午後2時～3時

■場 所：第2庁舎6階小打合せ室

■出 席：(敬称略)

(委 員) (4名) 浅田 多津子、室 英治、西尾 克人、杉村 康之

(事務局) (4名) 柳下 豊宏、田口 敦、熊谷 一茂、青木 大地

■欠 席：(敬称略)

(委 員) (2名) 石川 伊智郎、藤間 利明

■議 事

1. 報告

① 令和7年度 第9回検討調整会議事録・・・

- ・(事務局:青木)議事録内容について説明。修正等無し。

② 活動センター事業について・・・

- ・(事務局:青木)今後の予定について、以下の通り報告あり。

「府中かんきょう塾⑧（最終回）」：1月24日（土）13時から16時まで開催。Eを除くAからFの5グループが活動発表を行い（各20分）、その後交流会と修了式を行う。修了式での修了証授与については、かんきょう塾ネットを代表して室委員に対応いただくことになった。来年度のかんきょう塾については、かんきょう塾ネットにてカリキュラム案を作成中であり、次回以降の検討調整会で共有・確認を行う。

「春の親子かんきょう塾バス見学」：野山北・六道山公園と小平市ふれあい下水道館を巡るツアーを調整中。2月4日に現地踏査を行い、次回検討調整会にて行程を説明予定。

③ その他・・・

- ・(事務局：青木) 12月22日に「プラッツ」で開催されたテーマ型市民協働共創事業の公開プレゼンテーションを傍聴した際の報告がなされた。
- ・ 3団体がエントリーしており、1団体あたり35分以内でプレゼンが行われた。構成は、最初に市の職員が背景や課題を説明し、その後に事業者が約30分間の提案プレゼンと質疑応答を行う形式であった。
- ・ 今回のテーマは「子ども主体社会貢献体験プログラム」、「平和都市宣言40周年に向けた周知啓発の企画・提案」、「府中市の特殊詐欺体験会」の3点であった。
- ・ 審査員からは、プログラム対象者の抽出方法（年齢や人数）や、プログラムの効果測定方法、達成基準について詳細な質問がなされていた。ま

た、費用対効果や見積金額の適正性についても確認が行われていた。採択結果はまだ公表されていないが、確認でき次第報告する予定。

- ・(事務局：青木) センターだよりの発行形態について、前回の検討案からの変更点が説明された。当初はホチキスなしの8ページで検討していたが、手作業による製本負担や、読み手の取りやすさを総合的に判断し、A3用紙1枚の両面印刷(計4ページ分)に変更した。ページ数は減るが、掲載内容をセンターの活動報告とホームページのPRに絞ることで、十分に盛り込めると考えている。年度末の完成を目指し、早期にレイアウト案を作成して検討調整会にて意見を求める予定。

2. 議事

① 活動センターの運営方法について・・・

- ・(事務局：青木) 以前から議論を重ねている「市民協働・共創促進事業」の記事案について、本日の会議で可能な限り完成形に近づけ、早急に協働共創推進課へ提出するために、記事案(修正6)に対する意見をいただきたい。
- ・(西尾委員) 3ページ目の「期待する解決策」の内容が重複しており、回りくどい印象を受ける。我々が最も重視しているのは、1ページ目にある「解決したい課題」の3つであり、ここが解決されないと意味がない。「解決したい課題」と「期待する解決策」をリンクさせることで、プレゼンテーションの段階で、冒頭に掲げている課題を解決する案が出てくるようにすると良い。
- ・(事務局：熊谷) 「想定する解決策」と「期待する解決策」が同義になり重複しているため、「期待する解決策」の項目名を「想定する解決策(詳細)」などに変更し、内容を整理する。ワークショップの開催や成果物の作成といった具体的な内容を「想定する解決策(詳細)」に明記すれば、今の記事案を上手く活かせるのではないか。
- ・(室委員) 過去に作成したレポート「活動センターのあり方」に触れ、過去の活動の踏襲に留まるのではなく、当時の内容から一歩踏み出した、進歩的な活動を展開していくことが肝要であるとの意見。そのためにも、5年前のデータを改めて復習し、その知見に基づいた新たな知恵を集約するための場を設けるべきである。
- ・(浅田委員) 市民が抱える環境課題の内容について、「高齢化」や「農業の衰退」など、審査員がピンときやすい具体的な課題を入れるべきである。環境保全が防災や生活に直結する視点があると良いのではないか。
- ・(西尾委員) 高齢化による環境への影響とは何か。
- ・(浅田委員) 農業の担い手が減少することに加え、後継者不足による農地の

宅地化等も考えられる。

- ・(事務局：田口)「解決したい課題」と「府中市の課題」が結びつくように見直した方が良い。
- ・(室委員) 所属団体内での意見集約に要する時間の有無について確認したい。
- ・(事務局：青木) 3月末の公募締切を遵守するためには、事業者が検討・準備を行う期間を考慮し、1月中には記事案を協働共創推進課へ提出する必要がある。
- ・(事務局：熊谷) 本日の内容を踏まえた最終案を事務局が至急作成し、委員がメールでレスポンスを行う形で、今週中に記事案を提出する。
- ・(浅田委員) 記事案に掲載する写真の内容や枚数について、もう少し検討してみてもどうか。

② その他・・・

- ・(浅田委員) 1月24日のかんきょう塾最終回にて出されるであろう「府中市がこうなったらいいな」という受講生からの提案を検討調整会のメンバーで検討し、3月末までに市へ意見として提出してはどうかとの提案。次回検討調整会でまとめた案について検討したい。

3. その他・・・

次回は2月17日(火)午後2時～ @第2庁舎6階小打合せ室 に仮決定。
欠席の藤間氏、石川氏にも確認した上で最終決定する。